

#### (4) 情報メディア教育支援センター

##### ① センター

###### ア 設置の趣旨（目的）及び組織

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び学内情報ネットワーク並びに情報セキュリティの円滑な管理・運用を図り、教育・研究・管理・運営業務等に資するほか、情報教育を総合的に推進するために設置されており、センター長、センター配置教員（兼務3人）、その他必要な職員で構成されている。

###### イ 運営・活動の状況

令和4年度における主な運営・活動状況は以下のとおりである。

###### i) センターの機能・業務内容の充実に関する取組

センターの機能・業務内容の充実に関して意見交換を行うとともに、意思の疎通を図ることを目的として、センター長、センター兼務教員（3人）及び事務職員（3人）によるスタッフ会議を状況に応じて開催している。（令和4年度は開催しなかった）

###### ii) 教育の情報化推進に係る取組

例年、4月に新入学生を対象に行っている情報セキュリティ講演会及びノートパソコン準備講習会については、新型コロナウイルス感染者の増加による入構制限による中止を挟みながら実施した。

学内におけるICT環境の向上を目的として、Googleの有料ライセンス（Google Workspace for Education Plus）を教職員及び学生に対して配付を行った。これにより、学習管理ツールであるGoogle Classroom、オンライン会議ツールであるGoogle Meetの機能拡張や、Cloud Searchによるデータの横断検索が可能になり、利便性が向上した。

###### iii) 情報セキュリティ対策の強化

文部科学省や新潟県警察本部等からの情報提供（注意喚起等）に基づき、令和4年度は情報セキュリティに対する注意喚起を学内に23回発信した。

###### iv) キャンパス情報システムの更新

令和2年3月より運用を開始した現行のキャンパス情報システムの安定的な運用に努めるとともに、令和5年度のシステム更新に向けて各委員からの意見集約を実施した。

###### v) ギークラボ上越の開催

21世紀型スキル育成の一環として、地域の子どもを主な対象とした、プログラミングやデジタルものづくり等のICTスキルに関する教育や体験活動プログラムを提供している。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の流行により対面での実施が困難になったことから、オンラインで開催しており、令和4年度は計15回実施した。

###### ウ 優れた点及び今後の検討課題等

令和4年度に事業名「大学教育におけるデジタル活用環境の整備」が採択され、設備整備費補助金が交付されたことから、令和5年度中の完了を目指して関係各所と連携を取りながら業務を進める予定である。

## ② 運営委員会

### ア 設置の趣旨（目的）及び組織

#### i) 組織設置の趣旨（目的）

センター長の諮問に応じ、情報メディア教育支援センターの運営に関する重要事項を審議するため、情報メディア教育支援センター運営委員会が設置されている。

#### ii) 組織の構成及び構成員等

センター長、センター兼務教員、各学系から選出された教員等で構成されている。

### イ 運営・活動の状況

#### i) 委員会等の開催状況

令和4年度は、オンライン3回及び書面審議1回の計4回開催した。

#### ii) 審議された主な事項

- ・2023年度情報メディア教育支援センター開館計画
- ・新入生斡旋ノートPCの選定
- ・第4期中期計画・中期目標関係
- ・キャンパス情報システムの更新
- ・NPO法人上越地域活性化機構との連携協力について

#### iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

当初は2022年3月のSINET6移行に合わせて接続先SINETデータセンターの変更及び接続用回線の10Gbps化を行う予定だったが、半導体不足による機材の納期遅れにより2022年6月まで作業が遅延してしまった。更新後は安定して通信できている状態である。